

生産局長賞

地域リーダーを核にした広域的な取組で短期間に効果を発現

佐世保市南部有害獣対策協議会（代表者 永田茂文）
長崎県佐世保市

主な取組

イノシシによるかんきつ果実の食害、枝折れ被害が平成20年に甚大となり、危機感を持った地元農家の自主的な活動を契機として、JAや県普及センター等関係機関との連携のもと、取り組みを開始。

専門家による研修を重ねて17支部（集落）に各々の地域リーダーを育成し、地域全体で短期間のうちに一斉に対策を実施。

侵入防止柵は、21年から2年間で108km設置するとともに、地域リーダーが除草等柵の管理・監督を徹底。

また、捕獲の担い手育成に努め、若手農業者が中心となり約50名が新たに狩猟免許（わな免許）を取得。研修会の開催により捕獲技術を研鑽。

この結果、地域の主要品目であるかんきつ類の被害は大幅に減少し、さらに、新植や改植も進むなど産地の発展に寄与。